

政策提言書

関西国際未来コンソーシアム（仮）創設構想 2025年9月 準備委員会 発足

万博レガシーを継承する知的社会インフラ

2025年大阪・関西万博（夢洲）跡地の環境・芸術・経済・防災共生型都市づくり提言

～「いのち輝く未来社会のデザイン」のレガシーを！～

2025年9月24日

提出元：関西国際未来コンソーシアム（仮）創設準備委員会

- ・ 山極寿一（総合地球環境学研究所所長、人類学、元京都大学総長）
- ・ 畑 祥雄（写真家、映像プロデューサー）
- ・ 奥野卓司（関西学院大学名誉教授、文化人類学）
- ・ 吉村元男（造園家、都市プランナー）
- ・ 鈴木大輔（大阪関西国際芸術祭実行委員会 理事長・総合プロデューサー）
- ・ 嘉田由紀子（環境人類学者、元滋賀県知事、琵琶湖博物館創設者、参議院議員）
- ・ 金子道仁（元外務省職員、キリスト教牧師、参議院議員）

今後多様な有識者・団体との連携を拡大予定

関西国際未来コンソーシアム創設構想 (仮)

万博レガシーを継承する知的社会インフラ

夢洲を起点に、関西を水でつなぐアート&バイオリージョンへ



関西広域連合提供

関西国際未来コンソーシアム(仮)は、大阪・関西万博のレガシーを継承し、夢洲を拠点に「環境再生」「文化芸術」「経済・観光」「防災・減災」「教育」など多彩なカルチャーを統合する国際交流と文化外交のプラットフォームであり、各国に向けた広報・観光誘致の拠点として機能します。琵琶湖源流のトチノキ群落から淀川水系を経て瀬戸内に至る流域を「アート&バイオリージョン」としてブランディングし、アート×ビジネス×科学の融合を通じて未来社会を創造します。

関西国際未来コンソーシアム（仮）創設構想： 万博レガシーを継承する知的社会インフラ

2025年大阪・関西万博の理念と成果を将来にわたり持続可能な形で展開するため、「国際未来コンソーシアム（仮）」の創設を提案します。このコンソーシアムは、既存の産官学民の組織を基盤とし、地域に根差しつつ、万博に参加した国々と共に、ポスト万博時代における国際的な協働・対話・共創の場として機能することを目指します。

ここでは、環境、文化芸術、観光、経済、防災、イノベーション分野において、国際的なプロジェクトや研究開発、人材交流が継続的に行われ、知の還流と地域課題の解決が融合する新たな社会モデルが実装されていきます。



超学際的に地球レベルで「いのちの教育」を実践する



万博会場に掲げられているナショナルフラッグ

いのちの教育 を実践

超学際的にSDGsや地球レベルでの未来の「いのち」を学ぶ

関西国際未来コンソーシアム（仮）では、夢洲を起点に大阪・関西万博のテーマ「いのち輝く未来社会のデザイン」を継承するために、「SDGs」や「環境再生」「文化芸術」「経済・観光」「防災・減災」も含め、超学際的に地球レベルでより良い未来社会をデザインするための「いのちの教育」を実践します。

大阪大学や京都大学、大阪公立大学をはじめ、関西の大学や、国内外の大学とも連携をして学びと実践の場になります。

国際芸術祭を核とした文化外交の可能性 アートとビジネスの融合による創造都市の形成

夢洲を拠点とした大阪関西国際芸術祭（大阪ビエンナーレ）およびアートフェアの開催は、文化の力による国際交流と都市魅力の創出に直結し観光の拠点となります。

本芸術祭は、万博のように各国が独自のパビリオンなどで展覧会を行う世界最大の芸術祭「ヴェネチア・ビエンナーレ」方式の開催を志向し、大阪を国際的な「創造都市」「芸術都市」として世界に印象づける可能性を有しています。

また、文化芸術や学術振興のみならず、アートとビジネスの融合（Art in Business, Business in Art）を通じて、創造産業経済（クリエイティブエコノミー）の発展を促進することを目指しています。

芸術祭のみならず、建築、映画、音楽、ファッションなど様々なジャンルの文化イベントを開催します。



右写真はヴェネチア・ビエンナーレ日本館（出典 国際交流基金）
ヴェネチア・ビエンナーレの会場であるジャルディーニ公園には万博のように各国の常設パビリオンがあり美術展と建築展を交互に開催している。

100年の森づくりで多文化共生の聖地の実現を 夢洲全体をグリーンインフラのある都市にする

夢洲2期区域の大阪市営公園には「静けさの森」を引き継ぎ拡張された「地球の森」を造成し、ヴェネチア・ビエンナーレの会場であるジャルディーニ公園のように各国の常設パビリオンの他、2025万博記念の博物館、レストランなどが設置されます。

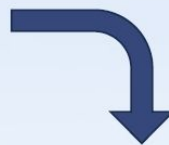
関連都市機能と連携し地球の森を含めた一体的な都市にすることは、夢洲を巨大なグリーンインフラをもつ文化都市に位置付けます。国際会議場や宿泊・エンタメ機能を備えた複合都市機能と連携し、大阪や関西副首都の経済的活性化を、隣接するUSJとセットで展開。100年の森づくりと連動して、経済活動の柱に地球温暖化対策や生物多様性政策を内在化して、世界各地からの企業投資を呼び込む拠点とします。



ランディングページ イメージ



入札ページ イメージ



Expo Reuse Project 万博のレガシーを残すオークション

大阪・関西万博で展示されたパブリックアートや、パビリオンで使用された機材・什器・ファニチャー・備品に、第二の生命を吹き込むプロジェクト。「いのち輝く未来社会のデザイン」という万博の理念を引き継ぎ、万博会期後に本来廃棄されるはずだった資材に新たな価値を与えるためにオンラインオークション（ヤフオク! (Yahoo!オークション) 協力）で販売し、その収益の一部を国際未来コンソーシアム（仮）に寄付することで、資源循環と社会貢献、未来世代への支援を同時に実現します。

Cultural Green Infrastructure Island Yumeshima



万博レガシーを未来資産に
国際芸術祭・グリーンインフラ・国際会議（MICE）



大阪・関西万博が開催された聖地
カルチュラル・グリーンインフラ・アイランド 夢洲

夢洲が文化芸術・観光・環境・経済・防災・学びの国際交流の場となります。